

コンテンポラリーダンスと伝統芸能が交わる身体表現の《今》

## 石見神楽 × ダンス

### 取材・記事掲載のお願い

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、この度、標記事業を開催致します。石見神楽神和会とダンサー・振付家の藤田善宏氏による共演企画の第2弾です。このたびの公演では、石見神楽の中でも人気の高い演目「黒塚」「岩戸」の創作共演作品をお届けします。ダンサーと石見神楽社中員の身体表現が融合し、伝統芸能とダンスの《今》を感じとれる、グラントワでしか観ることのできない必見の作品です。

つきましては、ご多忙とは存じますが、事前・当日の取材及び報道方宜しくお願い致します。

#### 趣旨・見どころ

##### ①新たな伝統芸能の発信 ～石見神楽 × コンテンポラリーダンス～

石見の伝統芸能の継承を担う若者と、国内外で活躍するダンサー・振付家の藤田善宏氏をはじめとし、第一線で活躍するダンサー5名による創作共演神楽公演です。

伝統を受け継ぎながらも新しい舞へ挑戦することで、石見神楽の発信だけでなく、石見に生きる若者の誇りを全力でぶつける作品となっています。また、青年部とダンサーたちが相互に刺激し合いながら創作を行うことで、石見神楽の新たな表現を生み出す機会となっています。

##### ②人気ダンスカンパニー コンドルズメンバーによる振付・演出

本公演で出演・演出・振付を行う藤田善宏氏は、世界20ヶ国以上で公演を行う人気ダンスカンパニー「コンドルズ」の1996年立ち上げメンバーです。

平成29年度文化庁芸術祭・舞踊部門新人賞を受賞、大塚愛や矢井田瞳のPV振付や、舞台演出も多数手掛けるアーティストで、本公演では本番1週間前から来県し、社中員と共に創作を行います。現地で時間を過ごし、地元の若者とコミュニケーションを図りながら作品づくりを行うことで、より作品の深みが増し、作品としての強度を高めていきます。

##### ③2020年開催予定『しまね伝統祭(仮称)』へ向けて

グラントワでは、2020年に「しまね伝統祭(仮称)」を開催予定です。地域に支えられた貴重な伝統芸能を発信し、伝承の重みを次世代へ伝えていくことが非常に重要であると考えています。

また、先人から受け継ぐ芸能を、地域の若者たちが集まり、柔軟な発想で取り組むことも大切であると考えています。本公演では、2020年の「しまね伝統芸能祭(仮称)」開催を見据えて、今まさに伝統芸能を継承する若者世代とグラントワが共に公演を作り上げることで、石見地域の文化をより盛り上げていくことを目指しています。

情報提供

## ■創作共演作品■

### 黒塚 KUROZUKA

別名「安達ヶ原」「白狐」とも言う。  
奥州陸奥の国、那須野ヶ原の山中に老狐が住いをなし巧（たくみ）に化て往来人に害をなし生血を吸っていた。  
ある日、裕慶法印が剛力と共に道に迷い奥山深く入り込み、剛力は女人に化けた老狐に喰い殺されてしまう。法印は念力により逃れた。そこに、帝より老狐退治の詔を受けた三浦之介、上総之介の両勇が通りかかり老狐を退治する。民話を神楽化した珍しい神楽である。

### 岩戸 IWATO 2017 年初演 再演

この神楽は、神楽の原点とも言われる神楽であり、事の始りは須佐之男命が、姉君天照皇大御神に身に余る悪事の末、大御神は岩屋にこもられ世は一転の常闇となる。  
さて如何にして天照皇大御神を岩屋より出すかと、児屋根命、太玉命の御評定の結果、天の宇津女命に、面白おかしく踊らせ、外が騒がしい為の様子を見ようと岩戸を少し開けられ、手力男命がすかさず岩戸を開け、天照皇大御神の御手を取り屋外につれ出し、世の中が明るくなったという神楽の演目です。  
天の宇津女命のしなやかな舞い方と、手力男命の力強く荒々しい舞い方に加え、最後の笠の手の揃いの舞方も見ものである。

## ■2017 年初演写真 演目：岩戸■



## ■出演者■

ふじたよしひろ  
藤田善宏



(C) 阿部章仁

益田市  
石見神楽神和会 青年部



写真提供 (一社) 益田市観光協会

振付家・演出家・ダンサー・デザイナー。パフォーマンスユニット CAT-A-TAC (キャットアタック) 主宰。ダンスカンパニー コンドルズメンバー。福井県出身。平成 29 年度文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞。福井しあわせ元気国体開会式典演技振付総合監修。群馬大学非常勤講師。小栗旬や加藤シゲアキ主演舞台への振付やステージング、今井翼・桐山照史主演舞台や NODA・MAP への出演など、MV、CM、舞台作品他、振演出演多数。「からだを使った遊び」を通して、健全な心と身体を育む活動に取り組み、世代を超えたコミュニケーションツールとなり得る事を目指している。愛猫家。プレス・仏像愛好家。メガネ・アンティーク収集家。

※藤田氏と石見神楽の共演は 2017 年に続き 2 回目

ダンサー：酒井大輝、宮本悠加、関口奈々、宮悠介

### 益田市石見神楽神和会

昭和 57 年に「益田市石見神楽互助会」として市内 9 団体によって設立。子ども神楽団の育成や益田地域の伝統文化を伝承するため、地域の秋の大祭や市内外での公演を行い、神楽の里づくりに努めてきた。平成 4 年に益田市石見神楽神和会と名を改め、現在では、益田市内の 12 神楽団体から構成されており、益田市を代表する文化・伝統である「石見神楽」の継承・発展に努めている。近年では国内だけでなく海外公演も成功させ、日本だけでなく世界に向け、石見神楽の PR 活動を行っている。本公演は神和会の若者を中心としたメンバーでつくる青年部が出演。

■基本情報■

日時：2019年3月31日(日) 開場 13:00 開演 13:30

会場：グラントワ大ホール 舞台上

料金：全席自由(税込)

【前売】一般 700円 会員・大学生以下 500円

※当日券は各 500円増し

※小学生以下無料

出演：益田市石見神楽神和会青年部 / 藤田善宏(振付家・ダンサー) / 酒井大輝、宮本悠加  
関口奈々、宮悠介

演出：藤田善宏

振付：藤田善宏 / 益田市石見神楽神和会青年部

■事前取材について・スケジュール■

3月25日(月)

藤田氏益田入り

3月26日(火)～30日(土)

グラントワ内外にて振付け創作及び、青年部との合同稽古開催

※上記日程内で合同稽古を行います。詳細な日時は下記担当者までお問合せください。

■当日取材について■

- ・取材の際には腕章をお願い致します。
- ・出演者、来場者への配慮のため、カメラ撮影はノーフラッシュでお願い致します。
- ・個人情報保護のため、個人が特定できない撮影(顔のアップを避ける)にご配慮願います。